



2008 - No. 01
2008年1月10日

企業メセナ協議会 文化政策フォーラム 2008
「文化政策の実現をめざして」の開催決定

～1月28日(月)、有識者・議員・研究者らを迎えてのラウンドテーブル～

社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区丸の内 1-8-2、会長:福原義春/理事長:福地茂雄)は、2007年6月、研究事業の成果をもとに「日本の芸術文化振興について、10の提言」をとりまとめ、企業メセナを含む芸術文化振興政策全般についての考えを明らかにしました。

その後も、公開提言発表会や関係各所への政策提案活動、一般からの意見募集等を行ってきましたが、このたび次なるステップとして、文化政策の“実現”を考えるフォーラムを開催します。

さまざまな立場で政策提案・立案に関わる有識者、議員、研究者らをパネリストに迎え、日本の芸術文化振興を可能にする、より具体的・実践的な文化政策とその実現について話し合います。文化振興の新たなステージを創出し、2008年を日本の文化政策の大きな転機とする場をめざします。

開催概要

都合により出演者/プログラム等が変更となる場合があります。最新情報は協議会 WEB をご確認ください

- 日 時 2008年1月28日(月)17:30～19:30 (開場 17:00)
- 会 場 内幸町ホール (東京都千代田区内幸町 1-5-1)
- 主 催 社団法人企業メセナ協議会
- 出演者 【基調講演】 川勝平太(静岡文化芸術大学 学長)
【ラウンドテーブル】
片山正夫 (セゾン文化財団 常務理事)
加藤種男 (アサヒビール芸術文化財団 事務局長)
加藤恒夫 (企業メセナ協議会 専務理事)
川勝平太
西村明宏 (内閣府大臣政務官、衆議院議員、衆議院前文部科学委員会理事、
自民党前文化伝統創造調査会事務局長)
前田武志 (参議院議員、民主党常任幹事/企業・団体委員長)
松 あきら (参議院議員、公明党文化芸術振興会議議長)
吉本光宏 (ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室長)
- 対 象 メセナ担当者、芸術団体、NPO、文化行政官、研究者、学生他、文化政策に関心のある方すべて
- 参加費 無料
- 定 員 180名 (申込先着順。定員になり次第締切ります)
- 申 込 件名を「1/28 フォーラム参加希望」とし、1)企業・団体名、2)〒・住所、3)氏名、4) E-mail、5)TEL を、Eメール mecenas@mecenas.or.jp までお申し込みください。
【申し込み締切り:1/21(月)】

青木保文化庁長官に来賓祝辞をいただきます。福原義春協議会会長/福地茂雄協議会理事長出席予定。

【本件に関するお問合せ】

社団法人 企業メセナ協議会 広報担当:内田/研究事業担当:若林
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄鋼ビル1階 TEL:03-3213-3397
FAX: 03-3215-6222 URL: <http://www.mecenas.or.jp> E-mail: mecenas@mecenas.or.jp

「日本の芸術文化振興について、10の提言」(2007年6月)

別紙参照

- 1: 総合的な芸術文化振興の推進と、芸術文化基盤の整備を [主として国への期待]
- 2: 短期的な効率主義よりも、長期的な視野に立った振興策の策定を [主として公共セクターへの期待]
- 3: 公益法人による芸術文化振興を支える、柔軟な法人制度改革を [公益法人改革への期待]
- 4: 先進諸国並みの寄付の優遇税制の整備を [国および地方自治体への期待]
- 5: 芸術文化振興諸機関の連携と協働を [公共セクターを中心にすべてのセクターへの期待]
- 6: 地域の芸術文化振興を強化する施策の立案を [地方自治体を中心にすべてのセクターへの期待]
- 7: マッチング・グラント制度の開発を [すべてのセクターへの期待]
- 8: 長期的に文化政策を担う専門家(プログラム・オフィサー)機能の配置を [国および地方自治体への期待]
- 9: 企業による芸術文化の基盤整備に、より一層の理解と参画を [企業への期待]
- 10: 経営資源のひとつ、「人」によるメセナを [企業および地方自治体への期待]

出演者プロフィール

片山正夫 (かたやま・まさお) 財団法人セゾン文化財団 常務理事

一橋大学法学部卒業後、(株)西武百貨店文化事業部を経て89年(財)セゾン文化財団事務局長に就任。現在は常務理事。また、(財)公益法人協会理事、アートネットワーク・ジャパン理事なども務める。共著書に『NPO 基礎講座』『プログラム・オフィサー』。企業メセナ協議会研究部会メンバー。

加藤種男 (かとう・たねお) 財団法人アサヒビール芸術文化財団 事務局長

1990年にアサヒビール(株)企業文化部課長就任以来、企業によるメセナ活動を幅広くリード。2002年より現職。企業メセナ協議会研究部会長。04年より(財)横浜市芸術文化振興財団専務理事として横浜市の文化政策推進の旗振り役も務める。日本NPO学会理事、日本NPOセンター評議員、大仏次郎記念館館長、埼玉県芸術文化財団理事などを務める。企業メセナ協議会研究部会長。

加藤恒夫 (かとう・つねお) 社団法人企業メセナ協議会 専務理事

大日本印刷(株)で長年文化事業を担当し、グラフィックギャラリー、現代版画の美術館の企画運営、グラフィックデザインアーカイブ、日本の美術館情報のウェブサイトを、フランスの美術館に関わるメゾン・ド・ミュゼ・ド・フランス、ルーブル美術館との共同実験事業などを手がける。またデジタルアーカイブ推進協議会でデジタルアーカイブの普及促進を行う。企業メセナ協議会では長年幹事を務め、2000年から2004年まで大賞部会長、2005年4月から現職。

川勝平太 (かわかつ・へいた) 静岡文化芸術大学学長

オックスフォード哲学博士。早大政経学部教授、国際日本文化研究センター教授を経て、2007年4月より現職。専門は比較経済史。「富国有徳」を唱え、美しい国土を持つ日本列島＝庭園の島(ガーデンアイランズ)構想を提唱している。著書に『富国有徳論』『文明の海洋史観』『「美の文明」をつくる』『文明の海へ』『文化力 日本の底力』など多数。国土審議会、教育再生会議、「食料の未来を描く戦略会議」委員はじめ要職を務める。

吉本光宏 (よしもと・みつひろ) ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室長

早稲田大学大学院「都市計画」修了後、社会工学研究所などを経て1989年からニッセイ基礎研究所に所属。97年セゾン文化財団の助成で米国コロンビア大学大学院に留学。文化施設開発、アートワーク計画などのコンサルタントとして活躍。文化政策、文化施設の運営・評価、アートNPO、クリエイティブ・シティ、アウトリーチなどの調査研究にも取り組む。企業メセナ協議会研究部会メンバー。

西村明宏氏、前田武志氏、松あきら氏のプロフィールは、追って協議会WEBに掲載します